QH-00-09-367
２０２５年４月

スレート･板金金具
施工マニュアル

販売店・工事店様用

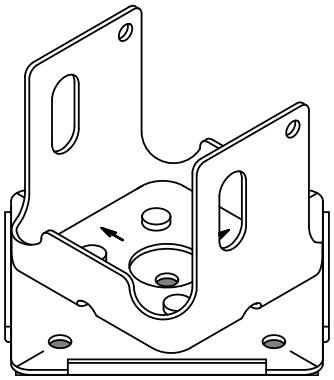
もくじ

１．架台・・・・・・・・・・・・・・・・・・p1
２．スレート・板金金具・・・・・・・・・・p2

◆ 仕　様 ◆

太陽電池モジュール	横置
野地固定	
センチュリーボード	

スレート対応



設置工事をされる方へお願い

■据付工事を始める前に施工マニュアルをよく読み、正しく安全に据付けてください。
■据付け強度を確保するため、施工マニュアルの据付方法を守ってください。
■据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第２種電気工事士の資格必要）
　●据付工事は高所（２ｍ以上）作業で転落の恐れがあります。また、感電の恐れもあるため、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
　●コーキング材を使用する場合、保護眼鏡、保護衣、保護手袋など適切な保護具を着用してください。
■取付け部材は、必ず付属品を使用してください。
■本施工マニュアルは支持部材のみの施工マニュアルとなります。
■建築強度については考慮されていないため、販売店様、施工店様にてご確認ください。

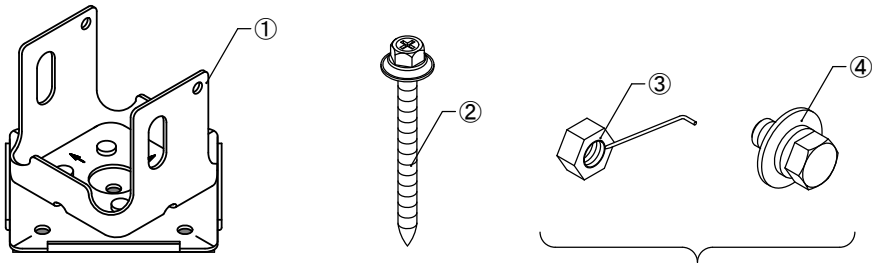
株式会社 屋根技術研究所

１．架台

１）支持部材

①スレート・板金金具セット

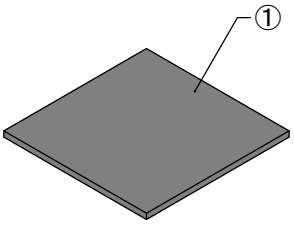
	品名	数量
①	スレート・板金金具	1
②	木ネジ 5.0×60（W・P付）	5
③	M8リボンナット	2
④	M8-**セムスボルト	2



※『スレート･板金金具施工マニュアル』に使い方の説明は記載していません。
縦桟を固定する際に使用します。

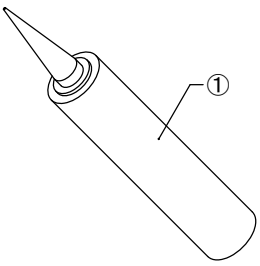
②追加ブチルセット（別名:シングル対応追加セット）

	品名	数量
①	増し貼り用ブチル	2



③コーキング

	品名	数量
①	コーキング	1



※金具10個／本

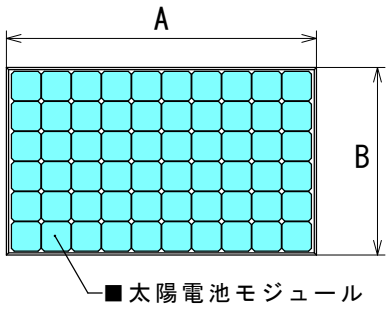
２．スレート･板金金具

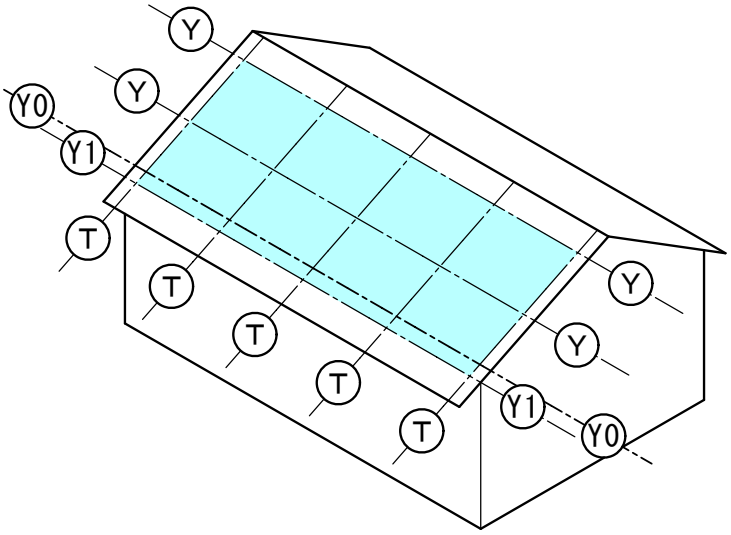
１）太陽電池モジュール位置の墨出し

太陽電池モジュールレイアウト図に従い、太陽電池モジュールの据付け位置の確認を行います。

① Y0ライン：屋根材の段差より64㎜軒側（軒先のスレート･板金金具の中心）
② Y1ライン：Y0ラインより250㎜軒側（縦桟の先端）
③ Ｙライン：Y1ラインより B（太陽電池モジュールの短辺寸法）+隙間寸法※1
④ Ｔライン：A（太陽電池モジュールの長辺寸法）+隙間寸法※1

上記の順に墨出しします。

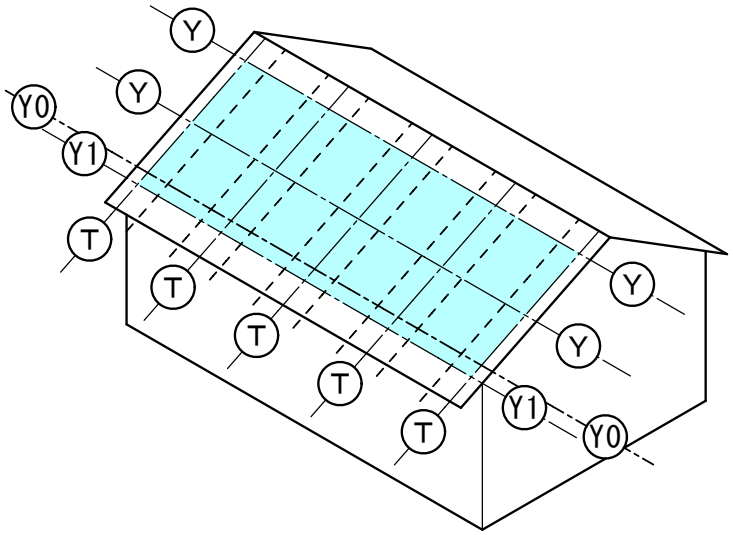




※1. 隙間寸法は工法によって異なります。
詳しくは別冊の『設計条件編』をご参照ください。

２）縦桟位置の墨出し

①太陽電池モジュールの片持ち長さに合わせ墨出しを行います。

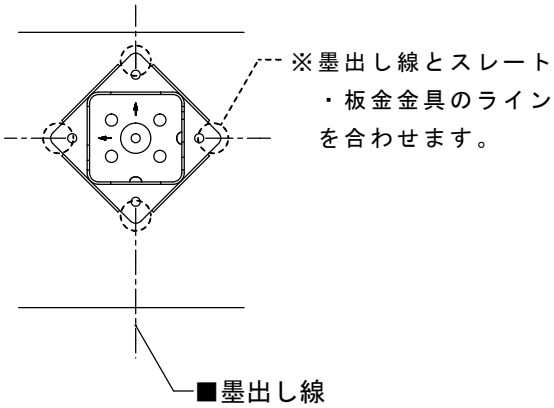


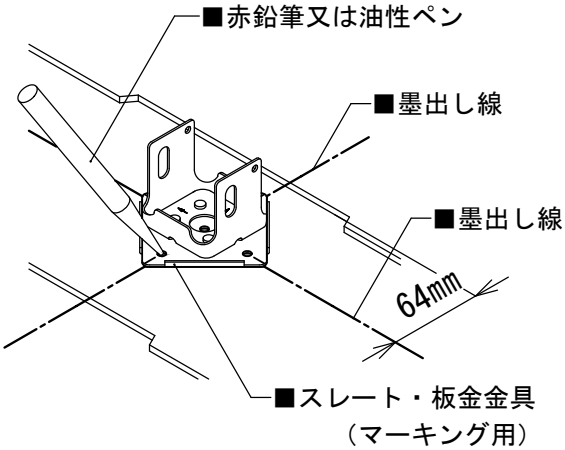
３）軒先以外のスレート・板金金具の墨出し

①軒先以外のスレート・板金金具の墨出しを行います。
この時、鉄骨母屋を避けてスレート・板金金具を配置してください。
※屋根材に対するスレート・板金金具の取付け位置は、屋根材の段差より64㎜軒側です。

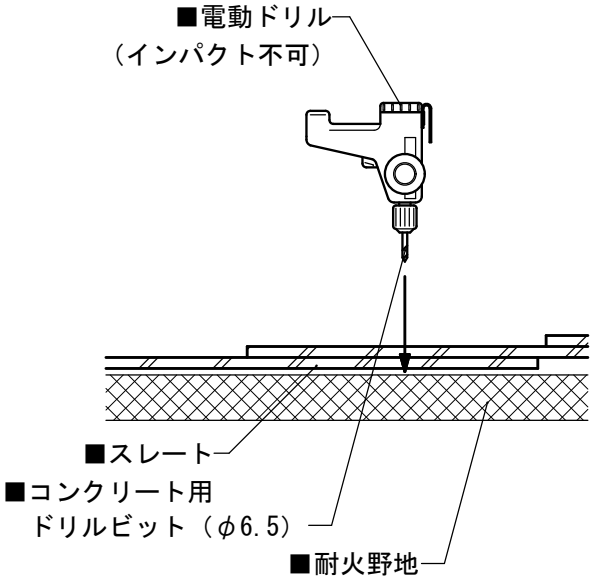
4）スレート・板金金具の固定

①スレート・板金金具を墨出し線上に置き、Y0ラインと縦桟ラインの交点と上下左右の木ネジ固定穴の5箇所をマーキングします。





②スレート・板金金具を退かし、マーキング位置にコンクリート用ドリルビット（φ6.5）でスレートのみに下穴をあけます。

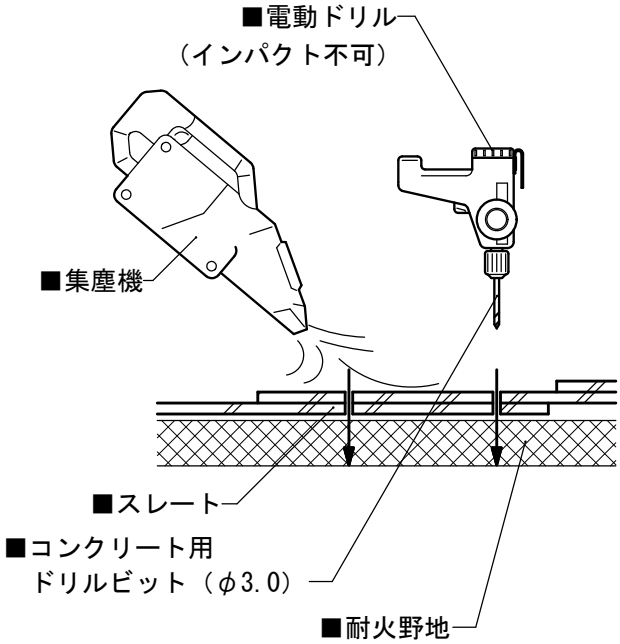


❗ 注　意

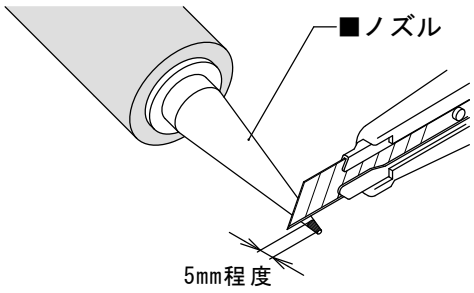
野地板まで下穴をあけないでください。
木ネジが効かなくなります。
下穴加工の際には、電動ドリルを使用してください。

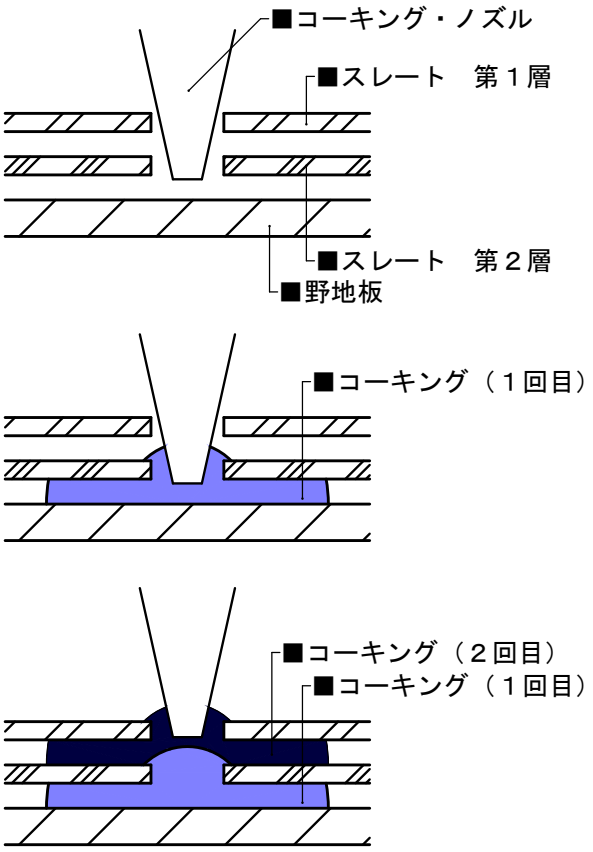
③スレートの下穴にコンクリート用ドリルビット（φ3.0）を入れ、耐火野地に下穴をあけます。

④下穴の切り粉を集塵機などで取除きます。



⑤コーキングのノズルの先端を5mm程度カットし、下穴にコーキングを十分に注入します。





右図の要領でコーキングを注入してください。

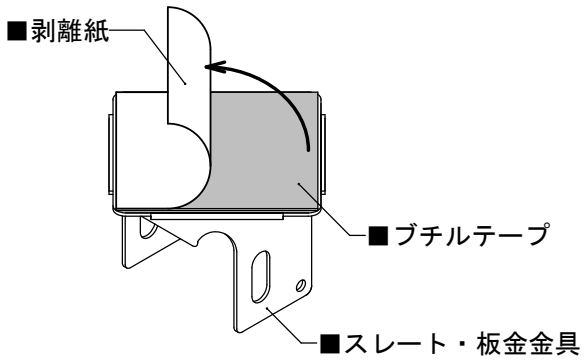
注　意

コーキングの注入量は、一連の作業で一握り程度です。

⑥ブチルテープの剥離紙を確実にはがします。

注　意

剥離紙が残った場合は、防水性が損なわれ雨漏りの恐れがあります。

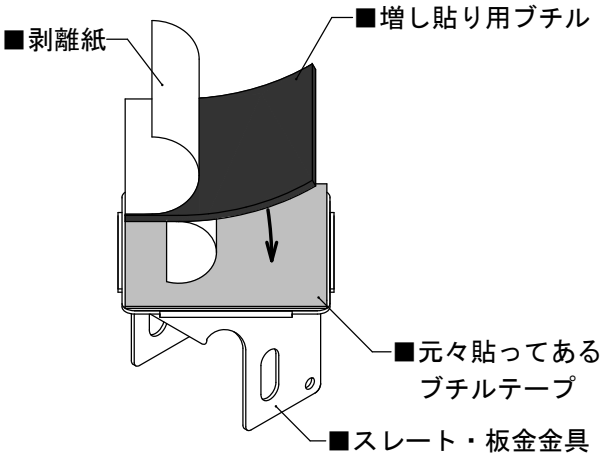


※<u>グランネクストサンドに対応する場合のみ</u>、スレート・板金金具に増し貼り用ブチルを貼付けてください。

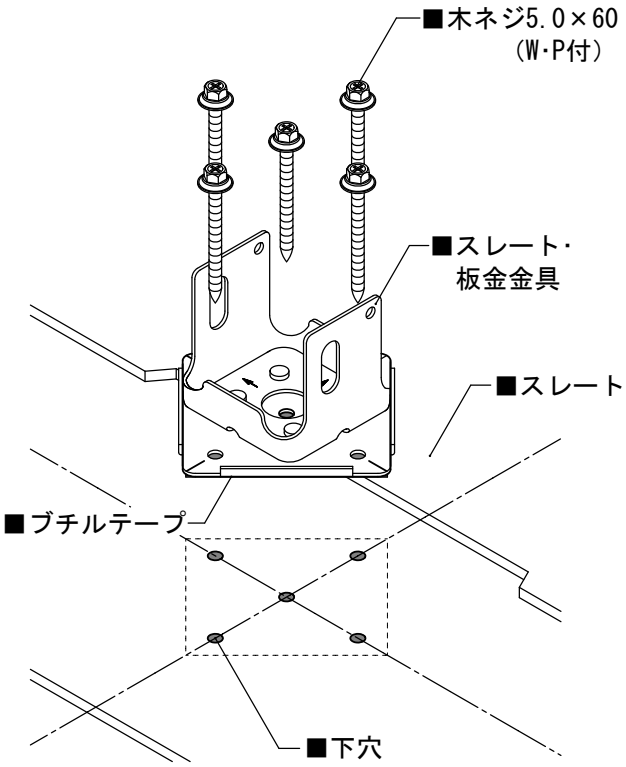
この時、剥離紙は確実に剥がしてください。

注　意

剥離紙が残った場合は、防水性が損なわれ雨漏りの恐れがあります。

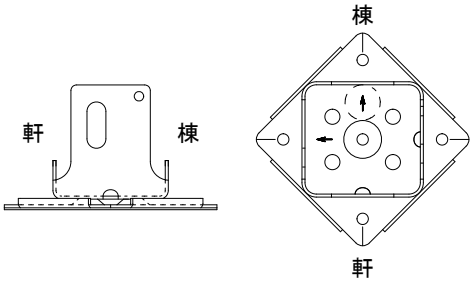


⑦スレート・板金金具を墨出し線上に合せ、木ネジ5.0×60（W・P付）で締付けます。
作業後、スレート・板金金具がスレートに密着していることを確認します。



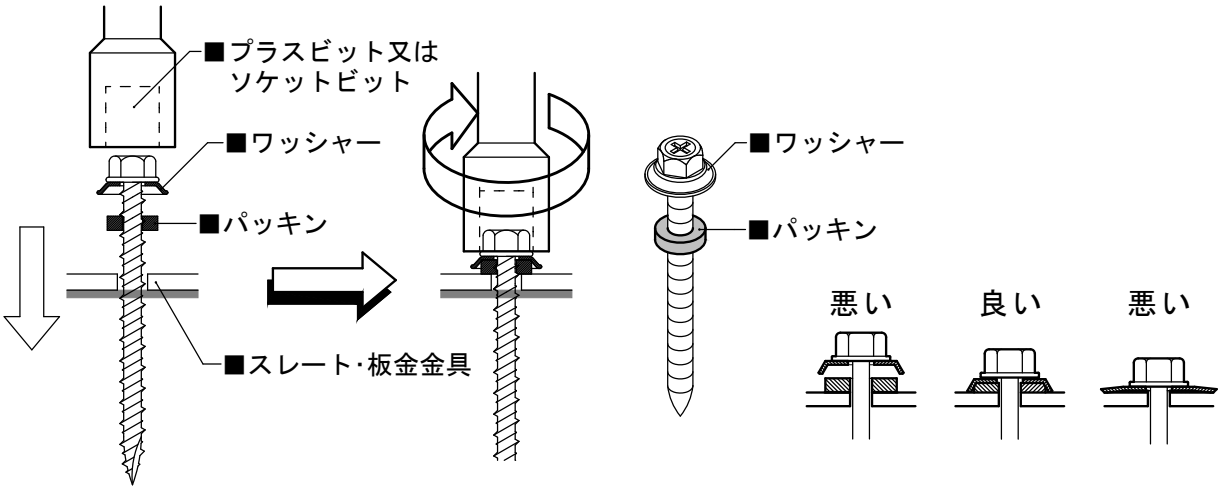
❗ 注　意

・金具の向きに注意してください。
・↑が棟方向となります。（図参照）



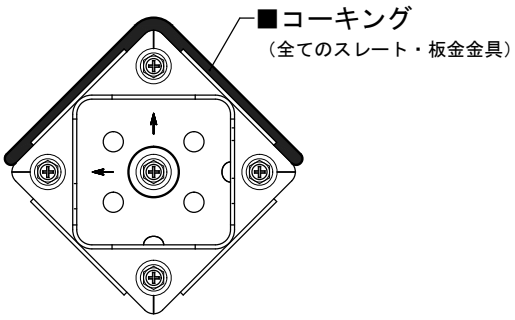
❗ 注　意

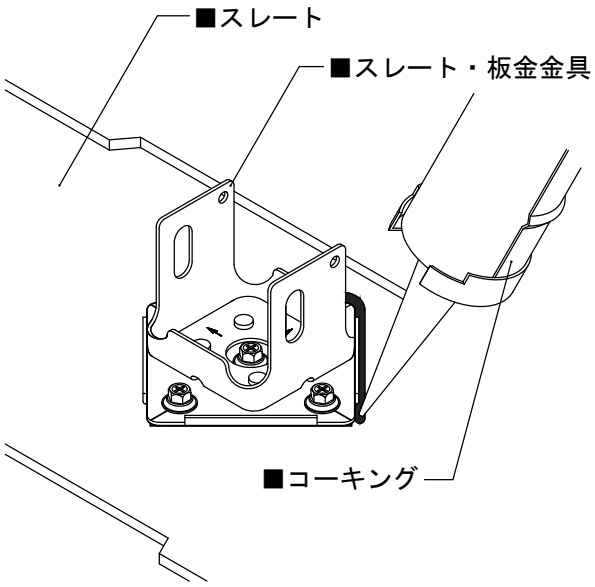
木ネジは締め過ぎないようにご注意ください。
締付け目安は、ワッシャーが手で回転しない程度です。



（木ネジの締付けによる過度の力を、スレートに伝えないためです。）

⑧スレート・板金金具の周囲（棟側2辺）にコーキングを施します。





注　意

スレート・板金金具の軒側は、入り込んだ雨水を排出する目的のため、コーキングしないでください。

推　奨

ネジ頭にもコーキングを行うことで、止水性を向上させることもできます。

⇒以降、太陽電池モジュールの施工については『太陽電池モジュール施工マニュアル』をご参照ください。